

平成30年度 浪江中学校「羅針盤」

《相双教育アピール》

社会につなぎ 未来を切り拓く 相双の教育

- 愛（徳）： 語り合い 高め合う心
- 英知（知）： つなぎ、つながる 活きる学び
- 創造（体）： 活力で満たす 健全な心身
- 特別支援教育： みんなでつなぐ 多様な学び
- キャリア教育： 学びを夢と紡ぎ 創り出す未来

《浪江町教育委員会重点施策》

1. 学びの充実と豊かな未来のための具体的で検証可能な目標設定
2. 安心して学習活動に打ち込むことができる学校環境の実現
3. 基礎基本の確実な定着と発展的・補完的学習指導の実現
4. 発達段階に応じた社会性規範意識等の育成
5. 心身の健康の保持増進と主体的取り組みの強化
6. きめ細かな指導による個の能力の伸長
7. 豊かな学びを支える自己教育に役立つ読書指導の充実
8. 特色ある活動を核とした学校の活性化
9. 地域に開き保護者との連携強化

【教育目標】

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒

【重点目標】

自分に自信を持ち、行動できる生徒

〈めざす学校・3つの「開く」〉

- 生徒が開かれる学校：生徒が楽しく学習、生活ができる。「生きる力」の育成、少人数を生かしたきめ細かな指導 生徒指導の機能を生かした教育活動
- 教職員が開く学校：教職員が連携・協働した組織的な取組
- 保護者・地域が開かれた学校：家庭、地域との連携推進

〈めざす生徒の姿〉

- 困難に負けずに生き抜く力を身につけている生徒
- 郷土の再建に貢献しようと復興への思いを抱き続ける生徒
- 学習内容を身に付け、自ら進路選択ができる生徒
- 善悪の判断をし、ルールを守って行動できる生徒
- ともに助け合い、活動できる生徒
- 健康・安全に気をつけて生活できる生徒

「ふるさと創造学」の推進（「Na, Mi, E」～「Na」:Native, Nationwide 「Mi」: Mission, Mind 「E」: Express, Enlighten, Encourage～）

地元を見つめ、全国的（国際的）な広い視野も持ちながら（人・もの・ことと関わり）（それらを基に、復興への）ミッションや心意気を表現し、伝え、（未来へ向け、みんなを）勇気づける
 (in:地域に浸り about: 地域を知る・伝える with: 地域とともに for: 地域のために)

確かな学力の定着と向上

- 1 深い教材研究に基づく授業の工夫・改善
 - ・「授業スタンダード」の各教科化による授業の工夫改善
 - ・個々の見方・考え方を生かした思考力・表現力の育成
- 2 少人数の特性を生かしたきめ細かな指導の充実
 - ・個に応じた指導の充実と多様な見方・考え方の育成
 - ・定着確認シート等の活用による補充指導の充実
- 3 学び方の指導と家庭学習・読書の習慣化
 - ・「家庭学習スタンダード」活用等、自律的な学習習慣確立のための手立ての工夫
- 4 IT機器活用、ブリティッシュ等教育団体と連携した指導の推進等、教職員のパワーアップ
 - ・現職教育の推進、ICTに関わる研修の推進、ねらいを踏まえた機器等活用力の向上

豊かな心と社会性の育成

- 1 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実
 - ・道徳教育全体計画（含・別業）に基づく共通理解と実践
 - ・縦割りや複数学年合同、全学年による教育活動の推進
 - ・新学習指導要領への対応促進
- 2 浪江中学校の生徒としての「こころざし」の育成
 - ・自律的な取組を重視した体験活動の推進（生徒の企画力を生かした秋桜祭等）
 - ・他の学校、校種等との交流活動の充実と一層の推進
- 3 自己有用感を高める生徒指導の推進
 - ・3つの「かける」（目・声・手間）と2つの「心」（優しさ・厳しさ）による個に応じた指導
 - ・いじめ「しない・させない・許さない」運動の推進

健康・安全教育の充実

- 1 健康に関する意識の向上と実践力の育成
 - ・自律的な生活習慣の確立につなげる「自分手帳」の活用
 - ・個々の生活スタイルに応じた日常の運動習慣の改善、歩数計の活用等による運動意識の向上
 - ・「歯科・口腔」「食」「性」等の継続指導と家庭との連携促進・共通実践に向けた手立ての工夫
- 2 防災・放射線に関する理解促進と安全・安心な環境づくり
 - ・日常的な安全点検と避難訓練等の計画的な実施
 - ・放射線教育の計画的な推進
- 3 スクールバスの乗車に関する意識の向上
 - ・自分で自分の身を守る態度の育成
 - ・非常時の対応についての家庭との共通理解

【本校教職員の「な・み・え」】＋福島県版資質向上に関する指標の自分化
「な」：難局を乗り越える気概と指導力（生徒を思い、強い意志を伴った自己研鑽）
「み」：魅力ある未来を思い描く想像力・創造力（わくわく感の共有と協働）
「え」：英気と笑顔あふれる人間性（信頼に基づく連携・協力、組織力の発揮）

〈不祥事の防止～風通しのよい職場環境～〉
 ・コンプライアンスの遵守 ・問題意識の共有化
 ・服務倫理委員会の充実

